



高鍋信用金庫による SNS を活用した地域密着型プロジェクト

ポイント

- 高鍋信用金庫は、コロナ禍を乗り越えた事業者を支援し、地域活性化に繋げるため、2023年12月から当金庫の SNS 広告を活用した地域密着型プロジェクト「たかしん、はっしん！！」を実施している。
- 2026年2月からは Instagram 広告に切り替え、広告の製作から配信、特設サイトの構築および運営まで当金庫が対応する。Instagram 広告の利用により、当金庫のフォロワー以外にも広告が表示されるため、事業者の情報を地域に広く発信できる。
- Instagram 広告を利用することで、アクセス数は飛躍的に増加しており、事業者の販路拡大や認知向上、地域の関係深化に貢献している。

1. 「たかしん、はっしん！！」プロジェクト

宮崎県児湯郡高鍋町に本店を置く高鍋信用金庫（図表1）は、地域密着型金融機関として、中小企業の経営改善や地域の活性化に資する様々な取組みを実施している。このような状況において、当金庫は2023年12月から、SNS 広告を活用した地域密着型プロジェクト「たかしん、はっしん！！」を開始した。本プロジェクトは、コロナ禍で打撃を受けた事業者を支援し、地域活性化に繋げる取組みである。

コロナ禍を乗り越え、変化と挑戦を続ける事業者の姿を当金庫の SNS で発信することで、事業者の販路拡大や認知向上、地域での関係深化に繋げることを目的とする。

2026年2月からは、Instagram 広告を起点とした特設サイトや事業者のサイトへの誘導に切り替えているが、県内で Instagram を利用した場合に当金庫の広告が表示される仕組みとなっており、フォロワー以外にも広く情報を発信している。

【図表1】高鍋信用金庫の概要（2025年度末）

本店所在地	宮崎県児湯郡高鍋町
創業	大正11年4月
預金残高	2,834億円31百万円
貸出金残高	1,119億50百万円
店舗数	23店舗
常勤役員数	237人

（備考）信金中央金庫南九州支店 作成

2. 本プロジェクトの概要・特徴

本プロジェクトは、広告の製作から配信、特設サイトの構築まで当金庫が主導・実施する広告連動型地域支援モデルである。当金庫の Instagram アカウントは営業店や事業者情報を掲載するほか、当金庫が費用負担する広告掲載配信を活用し、事業者は無料で情報を発信できる。また、当該広告から当金庫が運営する特設サイトの閲覧を促進し、事業者のより具体的な情報を掲載することで認知向上を図り、効果的に事業者を支援している。

当金庫は年間96社の広告を掲載する予定であり、同様の規模で継続的に広告を配信し、

事業者を支援するモデルは、信用金庫業界では前例がなく先進的な取り組みであるとのことだった。

3. 本プロジェクトの取組内容

県内で Instagram を利用した場合、図表 2 のような広告が掲載され、広告をタップすると当金庫が運営する特設サイト（図表 3）に移動する。特設サイトには、事業者の商品写真や紹介文のほか、「WEB」「MAP」の画像をタップすると、事業者の HP やマップに移動する仕組みとなっている。また、一部の事業者は「『たかしん、はっしん！！』を見た」と伝えればドリンク 1 杯が無料になるなどの特典を用意している。こうした取り組みにより、事業者は集客力の向上が期待できる。

【図表 2】 Instagram 広告 【図表 3】 特設サイト



（出所）高鍋信用金庫 Instagram



（出所）高鍋信用金庫 HP 「たかしん、はっしん！！」

4. 本プロジェクトにおける事業者・営業店・本部の連携

営業店では、取引先事業者をピックアップし、渉外担当者がチラシ（図表 4）を基に、広告掲載を事業者に提案する。事業者は、必要事項（紹介文・商品の画像 3 枚など）をスマートフォンで入力し、申し込む。本部は事業者の入力内容を精査し、当金庫が作成したフォームに転載し、Instagram 広告にて発信する。なお、広告配信期間は 1 か月である。

このような活動によって、渉外担当者は事業者との関係性を強化でき、本業支援への展開が期待できる。さらに、事業者の情報発信の支援という他金融機関と差別化したサポートにより、新規取引先を開拓するツールとしても活用できる。また、外部委託せず広告作成から発信まで当金庫内で完結しているため、迅速に対応することでスムーズな広告掲載が可能である。

【図表 4】 事業者向けチラシ



（出所）高鍋信用金庫 提供

5. 本プロジェクトに対する地域住民の反応

約 1 か月間（2026 年 2 月～3 月）の Instagram 広告掲載により、インプレッション数は約 17 万 6,000 回、特設サイトのアクセス数は約 4,500 件と多くの反応が得られており、利用者の関心を引いていることが分かる。

6. 今後の展開

当金庫は、本プロジェクトを地域応援ブランドとして確立し、地域の活性化と事業者の支援を促進するため、今後も Instagram 広告による発信を継続する考えであり、本部と営業店の連携強化によって、さらなる掲載事業者拡大を目指す。

本レポートは発表時点における情報提供を目的としており、文章中の意見に関する部分は執筆者個人の見解となります。したがって、投資・施策実施等についてはご自身の判断をお願いします。また、レポート掲載資料は信頼できると考える各種データに基づき作成していますが、当研究所が正確性および完全性を保証するものではありません。なお、記述されている予測または執筆者の見解は予告なしに変更することがありますのでご注意ください。